

平成22年12月21日

平成22年度（第65回）文化庁芸術祭賞の決定について

文化庁では、広く一般に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、芸術の創造と発展を図り、我が国文化の向上と振興に資するため、昭和21年から芸術祭を毎年実施しています。このたび、平成22年度文化庁芸術祭賞を別紙のとおり決定しました。（関西プレスクラブ同時提供）

1. 参加公演・作品及び審査

平成22年10月2日(土)から11月10日(水)の期間に、関東・関西で行なわれた演劇48件、音楽39件、舞踊29件、大衆芸能41件の参加公演及び10月1日(金)から11月30日(火)の期間に放送されたテレビ・ドラマ18作品、テレビ・ドキュメンタリー37作品、ラジオ24作品並びにレコード30作品の参加作品があり、高い独創性や企画性などを基準として、部門ごとに審査を行いました。

2. 贈賞

賞状（文部科学大臣賞）、トロフィー、及び賞金（大賞：60万円、優秀賞：30万円、新人賞：20万円）を贈呈します。

3. 贈呈式

文化庁芸術祭賞の贈呈式は、関西参加公演の受賞者については、平成23年1月20日(木)午後4時から、ホテルニューオータニ大阪（大阪市中央区城見1-4-1）、関東参加公演及び参加作品の受賞者については、平成23年1月25日(火)午後4時から、如水会館（千代田区一ツ橋2-1-1）で行います。

<担当>文化庁文化部芸術文化課支援推進室
室長：清水 功（内線2858）
室長補佐：所 昌弘（内線2084）
育成係長：尾曲 剛志（内線2081）
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-2081（直通）
参考HP：<http://www.bunka.go.jp>

平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

演劇部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 有限会社シアタープロジェクト・東京	「おそろべき親たち」の成果
	(関西参加公演の部) 該当なし	
優秀賞	(関東参加公演の部) 山本 泰太郎	第29回花影会における狂言「月見座頭」の演技
	(関西参加公演の部) 大蔵流狂言 善竹会	「平成22年度 善竹狂言会」の成果
	(関西参加公演の部) 南河内万歳一座	南河内万歳一座「ラブレター」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 城田 優	「エリザベート」におけるトートの演技
	(関西参加公演の部) 柚希 礼音	「宝塚歌劇 星組公演」における演技

音楽部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) クワトロ・ピアチェーリ	「クワトロ・ピアチェーリ第9回定期演奏会～シヨスタコーヴィチ・プロジェクトⅩ～」の成果
	(関西参加公演の部) 該当なし	
優秀賞	(関東参加公演の部) 高橋 翠秋	「高橋翠秋 胡弓の葉」の演奏
	(関西参加公演の部) 沼尻 竜典	沼尻竜典オペラセレクション「トリスタンとイゾルデ」(全3幕)の指揮
	(関西参加公演の部) 田中 勉	関西歌劇団第92回定期公演「リゴレット」における演技
新人賞	(関東参加公演の部) 佐藤 俊介	「上野学園 石橋メモリアルホール 佐藤俊介バロック・ヴァイオリン・リサイタル」の成果
	(関西参加公演の部) 林 裕	「林裕チェロリサイタル Cellist=Composer・Collection」の成果

舞踊部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 有限会社 谷桃子バレエ団研究所	谷桃子バレエ団創立60周年記念公演6「レ・ミゼラブル」の成果
	(関西参加公演の部) 該当なし	
優秀賞	(関東参加公演の部) 西川 祐子	「日本舞踊のしおり“創” 祐子の会」の成果
	(関西参加公演の部) 若柳 吟寿々	「若柳吟寿々の会」の成果
	(関西参加公演の部) 野間 景	野間バレエ団第19回定期公演「ジゼル」(全幕)における演技
新人賞	(関東参加公演の部) 平 富恵	平富恵スペイン舞踊公演「El Sueño II ～夢～」の成果
	(関西参加公演の部) 奥村 康祐	2010年地主薫バレエ団「ドン・キホーテ」(全3幕)における演技

大衆芸能部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 東 京太・ゆめ子	「漫才大行進」における話芸
	(関西参加公演の部) 該当なし	
優秀賞	(関東参加公演の部) 桂 小南治	「桂小南治の二席！！」の成果
	(関西参加公演の部) 露の都	「第3回露の都落語会」の成果
	(関西参加公演の部) 笑福亭 鶴二	「第13回笑福亭鶴二独演会」の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 春風亭 一之輔	「まちのゆめ・まちのころ・まちのことば」落語会における話芸
	(関西参加公演の部) 旭堂 南湖	世話講談の会における「柳田格之進」の成果

平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

テレビ・ドラマ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	株式会社WOWOW	ドラマWスペシャル「なぜ君は絶望と闘えたのか」(後編)
優秀賞	株式会社テレビ東京	テレビ東京開局45周年記念ドラマスペシャル「シューシャインボーイ」
	北海道テレビ放送株式会社	HTBスペシャルドラマ ミエルヒ
	日本放送協会 名古屋放送局	NHKスペシャル「15歳の志願兵」

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	日本放送協会	NHKスペシャル「密使 若泉敬 沖縄返還の代償」
優秀賞	富山テレビ放送株式会社	BBTスペシャル 不可解な事実～黒部川ダム排砂問題～
	日本放送協会	NHKスペシャル ふしぎがり ～まど・みちお 百歳の詩～
	株式会社テレビ金沢	田舎のコンビニ ～一軒の商店から見た過疎の4年間～

ラジオ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(ドキュメンタリーの部) 青森放送株式会社	高橋竹山生誕100年記念番組 ラジオドキュメンタリー 故郷の空に
優秀賞	(ドラマの部) 日本放送協会	FMシアター 「薔薇のある家」
	(ドラマの部) 株式会社日経ラジオ社	いのちみつめてスペシャル「今日は死亡予定日」
	(ドキュメンタリーの部) 北日本放送株式会社	KNB報道スペシャル 阿吽の呼吸の真実 ～生と死のはざままで～

レコード部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	日本コロムビア株式会社	二世豊竹古楽太夫(山城少掾)義太夫名演集
優秀賞	株式会社オフィスENZO	モノ＝ポリ
	有限会社ナミ・レコード	ブクステフーデ:ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンパとチェンバロのためのソナタ
	株式会社フォンテック	柴田南雄とその時代 第一期

平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

演劇部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) ゆうげんがいしや とうきょう 有限会社シアタープロジェクト・東京	「おそろべき親たち」の成果	4人の実力派の緻密で柔軟な演技力と、1人の新人のピュアな力強さが拮抗し、凄烈な共鳴を引き起こした舞台は、圧倒的な完成度の高さで他を圧していた。劇中の「わたしの気持ちと言葉が矛盾してる」というせりふ通り、観客は、せりふを耳にしながらかつらがる互いの距離感やかすかな表情の変化を凝視して、その真意を読み取ることに夢中になった。演劇ならではのダイナミズムを存分に味わわせてくれた、希有な名舞台である。
	(関西参加公演の部) 該当なし		
優 秀 賞	(関東参加公演の部) やまもと やすたろう 山本 泰太郎	たい かい か えいかい きょうげん つきみ ざとう えんぎ 第29回花影会における狂言「月見座頭」の演技	人生の深淵を穿つ名作「月見座頭」。閉眼の泰太郎が劇中の小舞「弱法師」で見せた、ワキ柱の寸前まで突進し長袴の裾軽々と舞台際に舞い込む鮮技は、たゆまぬ稽古の末に体得した自在の手練であって、老巧・山本東次郎のアドに伍する熟演が首尾一貫。他者の理解を超えた盲人の孤心と詩心を示し、絶大な感動を与えた。
	(関西参加公演の部) おおくら りゅうきょうげん ぜんちく かい 大蔵流狂言 善竹会	へいせい ねんど ぜんちくきょうげんかい せいか 「平成22年度 善竹狂言会」の成果	大曲『釣狐』を中心とした、工夫を凝らした演目構成で、狂言会が陥りがちな単調さを克服し、狂言特有のくつろいだ時空を現出。『釣狐』は珍しい「老狐」の小書で、シテの善竹忠一郎が善竹十郎の獺師を相手に同曲の本来の面白さを出して好演。『昆布売』『六地藏』とあわせ、善竹会の幅と将来性を感じさせる会であった。
	(関西参加公演の部) みなみかわち ばんざい いちざ 南河内万歳一座	みなみかわち ばんざい いちざ せいか 南河内万歳一座「ラブレター」の成果	21年ぶりの再演作。コインランドリーに洗濯に出したズボンのポケットに入れた一通のラブレターを巡って繰り広げられる物語の骨組みのみを残し、新たな堂々巡りの物語として大幅改定した。幻想と現実がダイナミックに交錯する演劇ならではの構造とパワー、劇団の十八番であるスピード感溢れる集団シーンなど劇団の魅力が発揮され、かつての小劇場演劇の熱気も感じさせた。物語としての弱さをねじ伏せる内藤裕敬の演出力が光った。
新 人 賞	(関東参加公演の部) しろた ゆう 城田 優	「エリザベート」におけるトートの演技	ハプスブルク帝国崩壊を皇后の生涯に重ね合わせた東宝版ミュージカル「エリザベート」。城田が演じたトートは黄泉の帝王で、生と死の狭間に揺れるヒロインを死の世界に誘う。その死を擬人化した難役を初役、トリプルキャストの最年少で挑み、透明感にあふれ抑制された清新な演技、歌唱力で悲劇的な作品世界をより高めた。舞台キャリアはまだ浅いものの今後の活躍が大いに期待される。
	(関西参加公演の部) ゆず き れ おん 柚希 礼音	たからづかかげき ほしくみ こうえん えんぎ 「宝塚歌劇 星組公演」における演技	「宝塚 花の踊り絵巻—秋の踊り—」とミュージカル「愛と青春の旅立ち」の上演。トップスターの柚希は、秋、冬、春へ移り変わる季節感に富むレビューで、伝統的な日本物の美しさを、伸びやかな舞踊と歌で描き出した。同名映画を歌劇化した作品では、海軍士官を目指す青年の葛藤や成長を骨太な人物造形で体現。舞台中央に屹立するスケールの大きさ、精悍さに加え、さらなる進化が期待できる将来性を示した。

平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

音楽部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部)		
	クワトロ・ピアチェーリ	「クワトロ・ピアチェーリ ^{だい かい ていき えんそうかい} 第9回定期演奏会～シヨスタコーヴィチ・プロジェクト区～」の成果	大谷康子、齋藤真知亜、百武由紀、荻田雅治の実力派4人によるシリーズ第9回。シヨスタコーヴィチの弦楽四重奏曲と現代作品を対置する優れた企画性、地道な活動の継続性の重み、ギア・カンチェリおよび池辺晋一郎作品を取り上げた今回の選曲、さらに技術偏重と一線を画する演奏の質の高さなどさまざまな点で、本年度参加公演の中でも傑出した評価を集めた。
	(関西参加公演の部)		
	該当なし		
優 秀 賞	(関東参加公演の部)		
	高橋 翠秋	「高橋翠秋 胡弓の菜」の演奏	独奏の古典曲《六段の調》、囃子との合奏に新機軸を打ち出した自作曲《花風》、歌舞伎「阿古屋琴責」を長唱化した《三曲糸の調》という3作品において、それぞれの特徴ある曲風を生かしながら、哀愁、繊細さ、明るさ、力強さなど、多彩な音色を情感豊かに操り、日本唯一の伝統的な擦弦楽器である胡弓の魅力を存分に引き出して、胡弓の可能性と存在感を印象付けた。
	(関西参加公演の部)		
	沼尻 竜典	沼尻竜典オペラセレクション「トリスタンとイゾルデ」(全3幕)の指揮	びわ湖ホールがオペラ制作について大きな成果を挙げたことはすでに広く認められているが、今回の「トリスタンとイゾルデ」の公演は、近年の充実ぶりをあらためて印象づけた。特に、この全3幕4時間半の劇の上演に際し、きめ細かな解釈を積み重ねながら、大きな構造をも照らし出す管弦楽演奏を引き出した指揮者沼尻竜典の傑出した手腕は高く評価される。
	(関西参加公演の部)		
	田中 勉	関西歌劇団第92回定期公演「リゴレット」における演技	主役であるリゴレットを演じた田中勉は、運命に翻弄される道化師の悲しみ、苦しみ、また娘ジルダへの父親としての愛情をすぐれた歌唱、演技で表現し、リゴレットの人物像、そして作品の悲劇性を深く掘り下げることに成功した。この円熟味を増した演唱は今後ますますの期待を抱かせるものである。
新 人 賞	(関東参加公演の部)		
	佐藤 俊介	「上野学園 石橋メモリアルホール 佐藤俊介バロック・ヴァイオリン・リサイタル」の成果	バッハ一族のヴァイオリン曲に加え、モーツァルトとベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタを、ピアノのショルンスハイムとともに演奏したりサイタルにおいて、佐藤俊介は古い奏法のみならず、自由に大胆な方法を試みた。「バロック」と冠することが、必ずしも時代を遡るのを意味せず、むしろ新しい演奏を探る性質を持っていると明快に示した。生氣あふれる演奏もあって、今後の活動が期待できる。
	(関西参加公演の部)		
	林 裕	「林 裕チェロリサイタル Cellist=Composer・Collection」の成果	林裕は最近「チェリスト＝作曲家」の珍しい作品を取り上げているが、今回はカサドとセルヴェがそれにあたる。カサドのソナタではスペイン風の装飾音や舞曲リズムが、思い切ったテンポ変化や冴えた高音で自在に表現された。ショパンのソナタでは、美しいカンティレーナと情熱的な要素がうまくかみ合っており、作品の美質を焙り出した。今後の活動の更なる展開が大いに期待できる。

平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

舞踊部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部)		
	有限会社谷桃子バレエ団研究所	谷桃子バレエ団創立60周年記念公演「レ・ミゼラブル」の成果	谷桃子バレエ団の「レ・ミゼラブル」(演出・振付 望月則彦 2006年初演)はヴィクトル・ユゴーの長篇小説を題材に、個人の生を歴史の流れに照らして俯瞰の視線で捉えたスケールの大きな舞踊作品だ。群舞のエネルギーを効果的に使い、時代の大きな変化のなかでもがく主人公達の姿から善悪や正義とは何かという根本的な問いが浮上した。ジャヴェール警部の葛藤を的確に描出した三木雄馬をはじめ、ダンサーたちの充実した演技が壮大なドラマを支えた。創立60周年記念公演。大賞に相応しい水準の高い舞台である。
	(関西参加公演の部)		
	該当なし		
優 秀 賞	(関東参加公演の部)		
	西川 祐子	「日本舞踊のしおり“創” 祐子の会」の成果	風趣の異なる二つの創作作品で西川祐子ならではの魅力ある舞台を構築。「河千鳥」では滑稽味のある物語をスタイリッシュに運び、洗練されたユーモアとして昇華。「あらべすく」では表裏、連続、永遠などの事象を端正に表現した。二題ともに、師・花柳茂香の独特な世界観を継承しつつ、静と動を程よく制御した所作により、独自の空間を作り上げた。
	(関西参加公演の部)		
	若柳 吟寿々	「若柳吟寿々の会」の成果	清元の持つ粋、艶、情を“心の彩り舞踊二題”として女と男で表現した。「山姥」では洪さの中にも、どこか華やかさを秘めた色調の衣装で、四季の花を詠みこんだ山めぐりを情感たっぷりに踊った。「助六」では、黒と白のすっきりとした衣装で、吉原が背景の高揚した気分や、手慣れた傘の扱いなども評価された。
	(関西参加公演の部)		
	野間 景	野間バレエ団第19回定期公演「ジゼル」(全幕)における演技	ヒロイン、ジゼルを品良く、ていねいに演じた。純情な乙女の途な心を視線にも宿らせ、思いを寄せる男性の偽りを知ったときの悲しみは震えるような指先からも伝え得た。精霊となった姿は儂げで、繊細な動きは幻想性を醸した。恵まれたスタイルを活かし、身体の美しいラインを際立たせた。その芸術性は高く評価できる。
新 人 賞	(関東参加公演の部)		
	平 富恵	平富恵スペイン舞踊公演「El Sueño II ～夢～」の成果	華やかな容姿と歯切れのよい動き、音楽性のある踊りは、スペイン舞踊本来の力強さと日本人らしい柔らかな感性に満ちている。また伝統的なフラメンコと創作的なスペイン舞踊をバランスよく配し、自身だけでなくゲストや群舞にも見せ場を作って、会場全体に高揚感を醸し出すことに成功。構成・演出の面でも優れた成果を見せた。
	(関西参加公演の部)		
	奥村 康祐	2010年地主薫バレエ団「ドン・キホーテ」(全3幕)における演技	日本人が身につけることが難しい西洋芸術であるバレエのダンスール・ノーブルらしい品格を持ち、回転や跳躍の高いテクニック、役を自分のものにして表現する演技力を持って「ドン・キホーテ」の主役バジルを踊った。さまざまなタイプの洋舞作品で、その作品や役柄ごとにそれに沿った魅力を観せることのできるダンサーとしての大きな成長の可能性を感じさせた。

平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

大衆芸能部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) あずま きょうた こ 東京太・ゆめ子	まんざい だいこうしん わげい 「漫才大行進」における話芸	漫才協会公演の中で、芸の伝承を感じさせる「間」が際立つ夫婦漫才であった。東京太は、最初に組んだコンビ、そして漫談、現在のゆめ子との夫婦漫才という変遷を経て、師匠でやはり夫婦漫才の松鶴家千代若・千代菊の持つ東京漫才の芸風を、現代に着実に生かしている。変遷の末に再度力を得る難しさを乗り越えての芸だが、この受賞によってゆめ子の突っ込みが尚一層磨かれ、さらに大きく開花することを期待する。
	(関西参加公演の部) 該当なし		
優秀賞	(関東参加公演の部) かつら こなんじ 桂 小南治	かつらこ なんじ に せき せいか 「桂小南治の二席！！」の成果	会場、客席と一体になった落語会を作り上げた、この会の成果は大いなるものだった。「そば清」「甲府い」を身近なエピソードを盛り込みながら好演した桂小南治、実兄をフォローした紙切りの林家二楽ら、出演者のチームワークが観客にも伝わった結果だと高く評価する。二席の中では、形式的になりがちな古典落語の運びを崩しながら、現代的なニューモアを含めた「そば清」が秀逸だった。
	(関西参加公演の部) つゆ みやこ 露の都	たい かいつゆ みやこらくこ かい せいか 「第3回露の都落語会」の成果	「みやこ嘶」は私落語ともいえるもので、演者の人柄・個性が存分に発揮されており、助演者の好演とともに、会全体を大きく盛り上げた。また、「三年目」「星野屋」と女性の活躍する嘶を並べ、特に「星野屋」は、下げ前のつまずきは惜しまれるものの、男を欺す母・娘のしたたかさをみごとに描き、女流落語家の演じる落語の一つの型を示した功績が認められる。
	(関西参加公演の部) しょうふくてい つる じ 笑福亭 鶴二	たい かいしょうふくていつる じ どころんかい せいか 「第13回笑福亭鶴二独演会」の成果	天性の明るさに安定感が備わり、落語のもつ笑いのバリエーションを存分に表現した。「替り目」の酔態の中に見える夫婦愛や女房の健気さ、「のざらし」では能天気な男の行動にあきれる周りの人たちの描写、「遊山船」でのバカバカしいほどの滑稽な掛け合い、それぞれを軽妙かつ的確に演じ、技量の確かさを感じさせた。
新人賞	(関東参加公演の部) しゅんぶうてい いち の すけ 春風亭 一之輔	らくごかい わげい 「まちのゆめ・まちのころろ・まちのこたば」落語会における話芸	「茶の湯」は場面転換も多く、冗漫になりがちな演目だが、刈り込むところとたっぷり聴かせるところを見極めて構成し直した力量は評価に値する。さらに独自の誇張表現を加えて視覚にも情感にも訴えて楽しませるという口演内容はニッ目としては高い水準に達している。現状に甘んじることなく、さらなる高みを目指して今後も精進していくことを期待する。
	(関西参加公演の部) きょくどう なんこ 旭堂 南湖	せわ こうだん かい やなぎだかくの しん せいか 世話講談の会における「柳田格之進」の成果	「世話講談」という講談の一分野に絞り、二席の講談を読んだ。南湖は上方講談の基本である「太閤記」「難波戦記」を継承した上に「探偵講談」という新分野を開拓している研究熱心な若手だ。二席目の「柳田格之進」は新解釈を加え主人公の心理描写を若手らしい初々しさを表現した。講談師としての口調も堅まってきており新人賞に値すると評価された。

平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

テレビ・ドラマ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	株式会社WOWOW	ドラマWスペシャル「なぜ君は絶望と闘えたのか」(後編)	現在も係争中の「光市母子殺害事件」の裁判取材記を見事にフィクション化。主人公を記者としたことで広がりのある作品となり、記者の眼を通して、人間の絶望、孤独、そしてそれと闘う姿が骨太に描かれラストまで引きつける。被害者遺族青年の陳述シーンは圧巻。繊細で温かな石橋冠の演出と江口洋介の演技が光り、命の大切さ、生きる意味、家族愛、友情が心に響く秀作。
優 秀 賞	株式会社テレビ東京	テレビ東京開局45周年記念ドラマスペシャル「シューシャインボーイ」	戦後混乱期を新宿の靴磨きで生き抜き、60年を経ても靴磨きを続ける恩人のもとに通う食品会社社長。転職後、その会社社長の運転手となり、日々を暮らす主人公。この二人を軸に展開する、心温まるドラマ。今と戦後混乱期を上手に交錯させながら、人間にとっての生きる意味、恩人という存在の大きさを実感させる好作品である。
	北海道テレビ放送株式会社	HTBスペシャルドラマ ミエルヒ	複雑に色を変える広々した空の下に、石狩川が流れ、遠くに工場が見える。自然と人工が融合した風景描写が圧倒的に美しい。そんな中で、漁師の老父と故郷を捨てた息子のドラマが展開する。疲弊する地方都市から出て行くこと、故郷に残って生活すること、そして故郷に戻ってくるということという主題がすぐれて現代的だといえる。
	日本放送協会 名古屋放送局	NHKスペシャル「15歳の志願兵」	県下のエリート校に所属する自負心ゆえに、戦時体制に過剰同化していく生徒たちの心の動き、教師や親たちの苦悩・葛藤を丁寧に描いている。戦時下における動員システムのしたたかさとそのエネルギーの本質を、見事にドラマで表現した秀作。

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	日本放送協会	NHKスペシャル「密使 若泉敬 沖縄返還の代償」	沖縄返還協定におけるアメリカ側の狙いは、有事の核再持ち込み「密約」を巧妙な切札にして、基地の自由かつ永続的使用を黙認させることにあった。対米交渉の密使若泉敬の自責と自殺の経過を追うことで、米外交の狡智に比べて、日本の外交・政治の脆弱さ、無責任さを鮮明に析出した秀作。沖縄史の悲惨が劇的に心に残る。
優 秀 賞	富山テレビ放送株式会社	BBTスペシャル 不可解な事実～黒部川ダム排砂問題～	黒部川のダムより排出された土砂が海域に流れ出で、環境に異変が起きつつあるのではないかと。不可解な現在の状況下、漁民の訴える声を聞き取りつつ、解明されていない複雑な問題に、丹念に科学的に事実を積み重ね明らかにしようとする、批判的先見性と、本質を追究し問題を提起しようとする姿勢が、高く評価された。
	日本放送協会	NHKスペシャル ふしぎがり ～まど・みちお 百歳の詩～	童謡「ぞうさん」などの作詞家で、100歳になった詩人、まど・みちおの飾り気のない清心な日常を綴った珠玉のドキュメントである。自らの老いと素直に向き合い、認知症が進行する妻を案じつつ悲壮感はなく、身の回りの全てを「ふしぎがる」持ち前の好奇心で、人間を自然を見つめ続ける老詩人。その生き様に心洗われる。
	株式会社テレビ金沢	田舎のコンビニ ～一軒の商店から見た過疎の4年間～	石川県の奥能登にある雑貨店を舞台にして、車による送迎まで引き受ける女性店主と、この店を頼りにするお年寄りたちとのふれあいを丁寧に描く。時にはユーモアを交えながら、地方で進行している深刻な過疎化・高齢化の現実をリアルに浮かび上がらせる。定点観測的な手法と、地域の人々に対する制作者の温かい視線が光る。

平成22年度(第65回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

ラジオ部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(ドキュメンタリーの部) 青森放送株式会社	たかはしゆくざん 高橋竹山生誕100年記念番組 ラジオドキュメンタリー 故郷 の空に	津軽三味線を芸術にまで高めた故高橋竹山の生前、没後の様々な音源(未発表のもの)をコラージュし、この盲目の巨人の実像に迫った秀作。厳しい津軽の土地から湧き出てきたかのような裸形の男の波乱に充ちた人生遍歴。その晩年を支えた孫の哲子さんの温かい愛情。力強い三味線の演奏と津軽ことばを活かした構成・演出は高レベルで、単なる記録を超える感動を与えてくれた。
優秀賞	(ドラマの部) 日本放送協会	FMシアター「薔薇のある家」	ほぼ完璧なウェルメイド・ラジオドラマ。老女女優とマネージャー役の娘との葛藤という目新しくはない設定ながら、見事に書き込まれた脚本で、奈良岡・大竹の二人が会心の“母娘ことば対決”を演じて、聴く者は、聴覚のみから微妙な表情までを読み取り人間の弱さ優しさに感動を覚える、真に至福の企画であり成果だった。
	(ドラマの部) 株式会社日経ラジオ社	いのちみつめてスペシャル「今日は死亡予定日」	臍臓ガンとともに生きた一般女性のブログが原作。抑制感がありときにユーモラスな原作の文体を尊重しながら、出演者が、原作者の真摯な生き様を再現しているところが評価された。また、全体の構成、音楽や川柳のあつかいに、手堅い演出力を感じさせる。ドキュメンタリードラマとして、指標となる作品に仕上がっている
	(ドキュメンタリーの部) 北日本放送株式会社	KNB報道スペシャル 阿吽の呼吸の真実 ～生と死のはざま で～	射水市民病院での人工呼吸器取り外し問題を取り上げ、元外科部長へのロングインタビューと膨大な取材テープを通じて、なぜ殺人として警察に通報されたのか、殺人罪での立件を目指す警察の事情聴取はどうだったのか、看取りの病室で何が行なわれたかなどの真相を明らかにしつつ現場の苦悩を伝えている。聴く者に、看取りの医療現場で何が必要なのかを問いかけてくる制作者の姿勢を高く評価したい。

レコード部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	日本コロムビア株式会社	二世豊竹古鞠太夫(山城少掾)義太夫名演集	明治・大正・昭和時代を代表する義太夫節の太夫、豊竹古鞠太夫が1909年にこの名を襲名し、のちの1947年に山城少掾を受領するが、このCDは古鞠太夫時代の貴重な録音である。40代から50代という脂の乗り切った時代の古鞠太夫の語りど名コンビといわれた相三味線、三世鶴澤清六の実際の演奏を聞くことができるのは、こうした地道な製作者の努力の賜物であり、アーカイブ的な意味でも高く評価される。
優秀賞	株式会社オフィスENZO	モノ＝ポリ	一人のバリトン歌手の手作りによる多重録音によって、古典から現代までの声楽作品がどれも美しい音像を結んでいる。選曲は歴史的な多彩さを保ちながら意外性にも満ち、そして果敢な取り組みも際立っており、完璧に協和し共振する声の響きが、それらのどの曲にも溢れていて完成度が高い。
	有限会社ナミ・レコード	ブクステフーデ: ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロ のためのソナタ	これまでブクステフーデは主としてオルガン曲や宗教音楽によって知られてきたが、これは彼の室内楽の質の高さを知らしめる画期的な録音である。桐山建志の光彩陸離たるヴァイオリン、そこにメランコリックな陰影を添える風早一恵のヴィオラ・ダ・ガンバを、平井み帆のチェンバロが堅牢な通奏低音で支え、完璧なアンサンブルを見せている。
	株式会社フォンテック	柴田南雄とその時代 第一期	作曲家であるとともに音楽研究者でもあった柴田南雄が遺した巨人的な成果を、生涯の長いスパンにわたって貴重な録音・映像としてまとめたもの。その大きな足跡をたどる第一歩ではあるものの、すでに驚異的な広がり深さを示している。アルバムとしての丁寧な作りも顕著で、解説も充実している。

芸術祭開催要綱

(昭和44年 5月16日文化庁長官裁定)
(全部改正 昭和60年 5月10日)
(一部改正 昭和61年 6月 3日)
(一部改正 昭和61年12月 2日)
(一部改正 平成 3年 5月16日)
(一部改正 平成 7年 5月31日)
(一部改正 平成 8年 6月 6日)
(一部改正 平成 9年 5月12日)
(一部改正 平成10年 4月20日)
(一部改正 平成11年 4月26日)
(一部改正 平成13年 5月11日)
(一部改正 平成15年 5月16日)
(一部改正 平成17年 5月26日)
(一部改正 平成18年 5月15日)
(一部改正 平成19年 5月21日)

1 趣 旨

芸術祭は、芸術の祭典として、広く一般に内外の優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、芸術の創造とその発展を図り、もって我が国文化の向上と振興に資する。

2 実施機関

- (1) 芸術祭を実施するため、毎年度、文化庁において文化庁芸術祭執行委員会（以下「委員会」という。）を組織する。
- (2) 委員会は、会長、委員長、企画委員及び審査委員（以下「委員」という。）をもって組織する。
- (3) 会長は、文化庁長官をもってあて、委員会を代表する。
- (4) 委員長は、企画委員の中から互選で定め、委員会の事務を統轄する。
- (5) 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が、その職務を代理する。
- (6) 委員は、各界の学識経験者等の関係者のうちから、文化庁長官が委嘱する。
- (7) 企画委員は、企画委員会を組織して第3項、第4項並びに第6項第1号及び第5号について議決する。

(8) 審査委員は、第5項第3号及び第4号の各部門に分属して審査委員会を組織する。

(9) 各部門の審査委員会に、審査委員の互選により審査委員長及び審査副委員長をおく。審査委員長は、当該部門の審査事務を整理する。審査副委員長は、審査委員長が事故等で欠けたときは、その職務を代理する。

3 期 間

原則として10月から11月までとし、各年度の期間は企画委員会で決定する。

4 開催地

関東・関西とする。

なお、企画委員会が特に必要と認める場合は、その他の道県又は市でも開催できるものとする。

5 形態及び部門

(1) 芸術祭の形態は、主催公演、協賛公演（作品）、参加公演、参加作品とする。

(2) 主催公演及び協賛公演（作品）部門

①演劇 ②音楽 ③舞踊 ④大衆芸能 ⑤民俗芸能 ⑥放送 ⑦レコード

(3) 参加公演部門

①演劇 ②音楽 ③舞踊 ④大衆芸能

(4) 参加作品部門

①テレビ ②ラジオ ③レコード

6 実施方法

(1) 主催公演とは、芸術祭の期間中に企画委員会が企画し、芸術団体等に制作を依頼して行う公演をいう。

主催公演については、文化庁はその公演経費の全部又は一部を負担する。

文化庁は、主催公演のために楽曲、脚本等の委嘱又は募集を行うことができる。

- (2) 協賛公演（作品）とは、優れた実績をもつ芸術家又は団体が芸術祭の期間中に行う公演（作品）のうち、芸術祭の趣旨に協賛する公演（作品）をいう。
協賛公演（作品）については、文化庁はその公演の広報宣伝に努めるものとする。
- (3) 参加公演とは、10月2日から11月10日までの間に行われる演劇、音楽、舞踊、大衆芸能の各部門に属する公演で、芸術祭に参加を希望するものの中から、その部門の審査委員会の意見に基づき委員長が芸術祭参加を適当と認めた公演をいう。
- (4) 参加作品とは、芸術祭の期間中に公開されるテレビ、ラジオ及びレコードの各部門に属する作品で、芸術祭に参加を希望するものの中から、前号に準じて芸術祭参加を適当と認めた作品をいう。
- (5) 審査委員会は、参加公演及び参加作品について審査を行う。
参加に関する規程は、企画委員会が別に定める。
- (6) 芸術祭に関する事務は、文化庁文化部芸術文化課で処理する。

7 贈 賞

- (1) 文部科学大臣は、審査委員会の意見に基づき、次の賞を贈呈する。
- ①演劇、音楽、舞踊、大衆芸能の各部門
 - 芸術祭大賞 特に優れた成果をあげた者又は団体
 - 芸術祭優秀賞 優れた成果をあげた者又は団体
 - 芸術祭新人賞 優れた成果をあげ、将来が期待される新人
 - ②テレビ・ドラマ、テレビ・ドキュメンタリー、ラジオの各部門
 - 芸術祭大賞 特に優れた成果をあげた団体
 - 芸術祭優秀賞 優れた成果をあげた団体
 - 芸術祭放送個人賞 優れた成果をあげた者
 - ③レコード部門
 - 芸術祭大賞 特に優れた成果をあげた団体
 - 芸術祭優秀賞 優れた成果をあげた団体
- (2) 受賞者は、芸術活動を通じて社会に貢献し、国民の模範となり得る者であることとする。